

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅲ				谷口 知弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本演習は「コミュニティデザイン」をテーマに、多様な背景や価値観を持った人々が機嫌よく暮らせる持続可能な地域社会をつくるための理論や技法を学ぶ。</p> <p>「コミュニティデザイン」の実践において、ワークショップを活用した協働型デザインプロセスに注目し、ワークショップの基本的な理論と技法を学ぶことに重点をおく。ワークショップを体験しながら理解を深め協働型デザインプロセスを進める実践的技法を身につけるとともに、教育やアートなどの分野で用いられるワークショップについても学ぶ。</p> <p>これらの体験的な学びのプロセスを新町商店街に開設予定の「まちかどキャンパス」を学外の拠点として活用し、大学と地域を往還しつつ地域協働型教育を行う。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>①ワークショップの基本的な理論と技法を習得する</p> <p>②地域社会に対する理解と共感を持つ</p> <p>③グループワークによりコミュニケーション能力を高め、多様な価値観や意見に対する受容力を高める</p> <p>④主体的な学び姿勢及び実践能力を身につける</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス：講義の目的とプロセス 技法1→ワークショップ「トーキング・スティック」、「KPT法」				
第 2 回	コミュニケーションとワークショップ 技法2→ワークショップ「ワールドカフェ～ネットワークをつくる」				
第 3 回	問題解決プロセスとワークショップ 技法3→ワークショップ「まちづくりデザインゲーム・街並みあわせ」				
第 4 回	フィールド・ワークとワークショップ 技法4→ワークショップ「地域再発見カメラ」				
第 5 回	協働型まちづくりとワークショップ 技法5→ワークショップ「まちづくりデザインゲーム・地域の環境を守る」				
第 6 回	対話の視覚化とファシリテーション・グラフィック 技法6→ワークショップ「問いを立てる。聞き出す。見える化する。」				
第 7 回	未来を描くプロトタイプング 技法7→ワークショップ「インタビュー」「未来シナリオ」「未来新聞」				
第 8 回	創造的な場づくりとオープン・スペース・テクノロジー1 技法8→ワークショップ「ワールドカフェ」				
第 9 回	創造的な場づくりとオープン・スペース・テクノロジー2 技法9→ワークショップ「プロアクションカフェ」				
第 10 回	協働のプロセスデザインとワークショップのプログラムデザイン-2 技法10→ワークショップ「ワークショップをデザインしよう」				
第 11 回	ワークショップのプログラムをデザインする 1 技法11→ワークショップ「創造的な会議」				
第 12 回	ワークショップのプログラムをデザインする 2 技法11→ワークショップ「創造的な会議」				
第 13 回	ワークショップのプログラムをデザインする 3 技法11→ワークショップ「創造的な会議」				
第 14 回	ワークショップのプログラムをデザインする 4 技法11→ワークショップ「創造的な会議」				
第 15 回	ワークショップの課題と可能性を探る 技法1→ワークショップ「トーキング・スティック」再び				

授業時間外学習 (Supplementary Activities)	
①ポートフォリオ（振り返り）の作成（復習） ②グループワークの補強（復習） ③グループワークの事前準備（予習） ④予備的な現地見学	
成績評価の方法と基準 (Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
受講態度 (50%) ポートフォリオ (30%) グループ活動 (20%)	秀：ワークショップの理論と技法を応用して、地域社会の問題解決に関わるワークショップの優れたプログラムデザインができる。 優：ワークショップの理論と技法を理解し、優れたファシリテーションができる。 良：ワークショップの理論と技法を理解し、ファシリテーションができる。 可：ワークショップの理論と技法を理解する。 不可：ワークショップの理論と技法の重要性を理解できない。
テキスト (Textbook)	特になし
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	講義で配布するレジюмеで指示する
備考 (Other Information)	・3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp（谷口）